

ひょうごの 赤十字

2016

April

4月

災害拠点病院としての使命を
果たすために

- 災害時の救護技術を学ぶ
- 各市町に配備の災害救援車を更新
- 復興への思いを未来へとつなげる
- 平成27年度第2回地区赤十字奉仕団委員長会を開催
- 輸血を必要とする患者さんのために
- 講習のご案内
- 東日本大震災義援金の受付期間を延長



災害拠点病院としての使命を果たすために

～神戸赤十字病院と兵庫県災害医療センターが傷病者受け入れ訓練を実施～

3月5日、神戸赤十字病院と兵庫県災害医療センター、兵庫県支部を会場に、マグニチュード8の地震で走行中の快速列車が脱線転覆、乗客など500人以上の傷病者が発生しているとの想定で、傷病者受け入れ訓練を行いました。

訓練には、両病院の職員をはじめ、県内の赤十字病院から医療救護班が参加した他、赤十字ボランティアと地域住民の皆さんに傷病者役としてご協力いただきました。

両病院は、災害時の医療救護活動において中心的な役割を担う基幹災害拠点病院に指定されています。災害時の医療は、限られた状況の中で、



トリアージ訓練の様子。
災害時は1人の医師が何人もの患者さんを診なくてはならないため、トリアージは大変重要



応援の救護員と連携し、重症者を処置

普段とはまったく異なる体制で行われます。そのような状況下で、一人でも多くの命を救うために、多数の傷病者の治療優先順位を決定し適切な搬送・治療を行うトリアージや応急処置、受け入れた応援要員をどのようにリーダーシップをとり調整するかなどの課題に取り組みました。万一の災害に備え、普段から災害時の対応を考え、災害医療機能の一層の強化に努めてまいります。



災害時の救護技術を学ぶ

～平成27年度第2回赤十字防災ボランティア実践研修会を開催～

災害時に日本赤十字社の災害救護活動を側面から支援する赤十字防災ボランティアの皆さんの、技術のスキルアップを図ることを目的とした「赤十字防災ボランティア実践研修会」を2月20日、兵庫県支部で開催しました。

研修会には、約30人が参加。今回は、大規模災害発生時に救護所などになるドラッシュテント(※)の設営に取り組みました。防災ボランティアリーダーからテントの特徴や設営手順を聞いた後、実践。参加者が力を合わせ、約200キロのテントを設営。冷暖房設備も装着し完成させました。

参加者からは「とても大変でした」「今までのテントとは異なる機能や手順を教えていただいて大変勉強になりました」「チームワークが大切だと実感しました」などの感想がありました。

(※)ドラッシュテント:断熱性・遮光性に優れ、冷暖房機能も備えたフレーム一体式のテント。



力を合わせて設営する赤十字ボランティアの皆さん。

いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています
活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からもご協力いただけます
口座記号番号：01110-0-1136
口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。



各市町に配備の 災害救援車を更新



～地域住民の皆さんの「いのちと健康を守る」ために～

兵庫県支部では、救護資材や救援物資の搬送など災害時の円滑な救護活動のため、また平時には赤十字活動の推進を図ることを目的に、皆さまからお寄せいただいた浄財をもとに、県内各市町に災害救援車を配備しています。

今年度は6台を更新し、2月23日に引き渡し式を行いました。

これからも皆さんの「いのちと健康を守る」ために各地域で活躍することとしています。

更新した市町

●神戸市地区本部 ●淡路市地区 ●宍粟市地区(2台) ●朝来市地区 ●たつの市地区



復興への思いを 未来へとつなげる



～3.11 私たちは、忘れない。～

東日本大震災から5年を迎え、震災の記憶さえもが薄れつつある中、日本赤十字社は「私たちは、忘れない。」を統一テーマに全国的なプロジェクトを展開しました。

3月2日には県立上郡高等学校で行われた青少年赤十字「防災教育プログラム」の中で、1年生240人が被災者へのメッセージを書き込んだ応援フラッグを作りました。このフラッグは、全国から寄せられたフラッグと共に、福島、宮城、岩手3県に届けられ、市役所や町役場に掲げられています。

また、3月10日～16日、神戸市役所の花時計ギャラリーにて、「東北に咲きはじめた笑顔の花」と題し、日本赤十字社が取り組んできた復興支援活動から生まれた被災者の笑顔に焦点をあてたパネル展を開催。記憶の風化を防ぐと共に、助け合いと防災意識の向上を図りました。

思い思いのメッセージを
書き込む生徒たち



平成27年度 第2回地区赤十字奉仕団 委員長会を開催



～さらなる活動充実のために～

3月10日、県内各地区で防災訓練や子育て支援、社会福祉支援など、地域に根差した活動を行っている地区赤十字奉仕団の第2回委員長会をひょうご女性交流会館(神戸市)で開催しました。

兵庫県支部の平成27年度事業報告に続き、平成28年度事業計画について協議いただきました。

また、平成27年度にモデル奉仕団として地域で子育て支援や地域防災、献血推進に取り組んだ神戸市灘区、尼崎市、たつの市の奉仕団が活動事例を発表。平成28年度は、神戸市灘区、尼崎市、赤穂市、淡路市の奉仕団がモデル奉仕団として活動に取り組まれることも決定しました。

議事を進行する
北野兵庫県赤十字奉仕団委員長。



輸血を必要とする 患者さんのために



～兵庫県日赤有功会から献血者にプレゼント～

兵庫県日赤有功会から血液事業支援として、献血いただいた皆さまへの記念品にと、災害対策用食品として長期保存ができる「ビスケット缶」をご提供いただきました。

赤十字血液センターでは、輸血が必要な患者さんの尊い生命を守るため、多くの皆さまに献血へのご協力をお願いし、安全な血液を安定的に確保し供給できるよう日々努めていますが、年度末は、企業や学校など団体でのご協力が得られにくい時期となっています。年度末最後の日曜日となった3月27日、県内の献血会場でご協力いただいた皆さまへ感謝の意を含め記念品をプレゼント。思わぬプレゼントに喜んでいただいた他、多くのご協力が得られ、年度末の血液の安定確保に大いに役立ちました。

講習のご案内

お問い合わせは、
お電話またはホームページで



078-241-1499 (講習係)

救急法救急員養成(2日間受講)

6/25(土)・26(日)
9:30～17:30

水上安全法(プール講習・4日間受講)

5/15(日)・21(土)・22(日)・28(土) 9:00～17:00(最終日は～14:00まで)
※5/21～会場はポートアイランドとなります

幼児安全法(3日間受講)

5/13(金)・14(土)・15(日)
10:00～16:00

科目別講習 講習の一部のテーマを短時間で習得できます。

幼児安全法

乳幼児の災害時支援
5/22(日) 10:00～12:00

健康生活支援

健康な高齢者をめざして
5/29(日) 10:00～12:00

健康生活支援

高齢者に起こりやすい事故の予防と手当て、急病への対応
5/29(日) 13:00～15:00

健康生活支援

災害時高齢者生活支援講習
6/12(日) 10:00～12:00

幼児安全法

子どもに起こりやすい事故の予防と応急手当て
6/19(日) 10:00～12:00

幼児安全法

乳幼児の一時救命処置
6/19(日) 13:00～15:00

◇申込期日は開催日(初日)の一月前までです。 ◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。



《認定証の有効期間の変更と資格継続研修について》

○すべての赤十字講習の認定証の有効期間が5年に変わります。

平成28年4月1日以降に開催する講習の検定合格者および資格継続研修の受講者が対象となります。
平成28年4月1日までに認定証を保有の方は認定証記載の有効期間となります。

○平成31年3月31日をもって赤十字救急員等の資格継続研修を廃止します。

認定証の有効期間内の方で、平成28年4月1日から平成31年3月31日までに資格継続研修を受講していただくことで有効期間を5年延長します。

※平成28年3月31日までに発行された有効期間内の認定証を保有される救急員・救助員・支援員で、有効期限が1年以内の方が受講対象となります。

※平成28年4月1日以降に資格継続研修を受講し、有効期間を5年延長した方は、平成31年3月31日をもって資格継続研修が廃止となることから、その後の延長はできませんのでご注意ください。改めて養成講習の受講をお願いします。

東日本大震災義援金の受付期間を延長 引き続きご支援をお願いします。

受付期間／平成28年4月1日～平成29年3月31日

協力方法／各金融機関、クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easyなどによりご協力いただけます。

※お寄せいただいた義援金は、手数料などを一切いただきず、全額を被災された方々へお届けしています。
また、義援金受付に係る事務費は、皆さまからお寄せいただく活動資金により対応しています。

【お問い合わせ先】日本赤十字社 東日本大震災義援金担当

☎ 03-3438-1311 (代表) 受付時間／平日9:00～17:30